

2024年6月24日（月）  
愛知県防災安全局防災部  
防災危機管理課  
危機管理・国民保護グループ  
担当 青山、加藤  
内線 2506、5508  
ダイヤル 052-954-6143

## 市町村の業務継続計画（BCP）策定・改善研修を開催します ～計画の実効性の確保を目指します～

愛知県では、県内市町村の業務継続計画（BCP）の策定及び改善を促進するため、三井住友海上火災保険株式会社（東京都）と締結している「愛知県の防災取組に対する地域防災力向上の相互協力に関する協定」に基づいて、同社の全面協力により、県内市町村職員を対象とした「業務継続計画（BCP）策定・改善研修」を開催します。

この研修により、能登半島地震を始め大規模災害時の事例や課題等を共有し、計画の改善を促すとともに、ワークショップを通じて、訓練等の企画を実践し、所属市町村における計画の実効性の確保を目指します。

### 1 研修の概要

#### （1）研修日程等

日程	・2024年6月26日（水） ・午前10時から午後4時30分頃まで
主な内容	・近年の災害動向と地方公共団体のBCP策定状況 ・実効性のあるBCPへの改善や見直し等に必要となるポイント ・訓練等企画ワークショップ（初）午後2時50分から
対象者	・県内市町村職員

#### （2）研修の特色

BCPの「特に重要な6要素<sup>\*</sup>」の策定と内容の充実を図るため、能登半島地震を始め大規模災害時の事例や課題等を共有し、グループディスカッションを通じて他市町村の職員と情報交換を行い、自らの自治体のBCPの改善に活用します。

また、計画の実効性を確保するため、本研修では初となる、ワークショップを通じ、参加者がBCP訓練等を企画し、自らの自治体における企画立案に役立てます。

※特に重要な6要素

業務継続計画の中核となり、その策定に当たって必ず定めるべき特に重要な要素

- ① 首長不在時の明確な代行順位及び職員の参集体制
- ② 本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定
- ③ 電気、水、食料等の確保
- ④ 災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保
- ⑤ 重要な行政データのバックアップ
- ⑥ 非常時優先業務の整理

(3) 講師

<sup>エムエス</sup>MS & <sup>エーディー</sup>AD インターリスク総研株式会社 鍵村 有子 氏

<sup>エムエス</sup>MS & <sup>エーディー</sup>AD ホールディングス（三井住友海上火災保険株式会社などを有する持株会社）の関連事業会社。様々なリスクに関するコンサルティングや調査研究などを行っている。

2 会場

三井住友海上名古屋ビル2階 大会議室（名古屋市中区錦1-2-1）  
アクセス：地下鉄桜通線 国際センター駅【3番出口】（徒歩5分）  
地下鉄桜通線・鶴舞線 丸の内駅【3番出口】（徒歩5分）  
地下鉄鶴舞線・東山線 伏見駅【10番出口】（徒歩9分）

3 主催

愛知県  
三井住友海上火災保険株式会社

4 参考

「愛知県の防災取組に対する地域防災力向上の相互協力に関する協定」

大規模災害に備えた地域防災力の向上を推進し、県内の防災への取組を活性化することを目的として、防災訓練などへの参画、防災知識の普及、地域防災力向上のため情報提供などに関して、本県と三井住友海上火災保険株式会社が相互の連携強化を図るため2015年9月に締結。

取材に際してのお願い

取材される場合は、当日、三井住友海上名古屋ビル1階の受付で、「BCP策定・改善研修取材」の旨、お申し出ください。  
また、講義中の受講者への取材は御遠慮ください。